

日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会

vol.56
2022.02.01

若手研究者コラムリレー

平塚 卓也 (ひらつか たくや)



プロフィール

環太平洋大学 体育学部体育学科 助教
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域: 体育・スポーツ政策

神奈川県出身

2012年 神奈川県立鎌倉高等学校 卒業
2016年 筑波大学体育専門学群 卒業
2018年 筑波大学大学院 博士前期課程 修了
2021年 筑波大学大学院 博士後期課程 修了 博士(体育科学)

2020年4月より現職

E-mail: t.hiratsuka@ipu-japan.ac.jp



わたしの研究

日本の体育・スポーツ行政史

右上写真のように「専門は器械運動です」と言っているときもありますが、基本的には体育・スポーツ政策の領域で研究をしています。現在の研究テーマは、「戦後体育行政の形成過程に関する歴史的研究」であり、中央政府の体育・スポーツに関する行政組織の設置や廃止の政策形成過程を研究しています。以下では、研究の概要を簡単に説明したいと思います。

まず、どのような行政組織を設置するかは、どのような政策を実施するかを意味することになります。また、公共政策の対象になるということは、そこに公共的な価値があるということになります。日本では、文部省体育局やスポーツ庁といった行政組織が設置されてきましたが、それは、「体育」や「スポーツ」に公共的な価値が見出されたということになります。

では、その際、「体育行政」や「スポーツ行政」が実現しようとした価値や理念とは何だったのかということ行政組織の設置や廃止の過程から捉えようというのが私の研究になります。また、関係アクターの立場によって実現したい価値や理念は異なりますので、アクター間でどのような対立、妥協、制約があり、政策決定に至ったのかを問うことも私の研究課題です。

ところで、それは、なにが面白いのか、と他領域の知人に言われることが多いです。正直なところ、面白さを本当の意味で説明できるように答えを探すために研究を続けているというのが現状です。ぜひ、関係論文をご覧いただき、こういう面白さがあるのでは？とコメントいただければ幸いです。

あとは、器械運動の研究したいなーと思っているのが本音です。

わたしの渾身の論文・書籍・記事



平塚卓也 (2021) 1949年の文部省体育局廃止の政策形成過程におけるアクター行動の制約. 体育学研究66 : 677-689.

(なんでも帳)

体育・スポーツ政策専門領域の設置

テーマに迷いましたので、体育・スポーツ政策専門領域選出の若手研究者委員として2021年4月に新設されました専門領域の紹介をしたいと思います。

本専門領域は、「体育・スポーツの政策に関する研究を行い、体育・スポーツの研究、実践、実務および政策に寄与すること」を目的に設置されました。2018年2月に設立準備会を設置し、設立の申請準備を進め、2020年6月の日本体育学会総会において設立が承認され、2021年4月に正式に設立され、本格的な活動を始めました。

2021年12月19日には、発足記念研究会を開催し、現在は、2022年3月末に機関紙「体育・スポーツ政策論叢」創刊号を発刊すべく、編集作業を進めています。また、第2号からは投稿論文も受け付けられるように投稿規程や査読体制の整備にも努めています。

本専門領域は、体育・スポーツ政策に関心を寄せる多くの皆様に参画していただき、学際的、領域横断的に研究交流を行うことを目指しています。その趣旨を踏まえ、「体育・スポーツ政策論叢」においても、体育・スポーツ政策に関する多様な研究や、政策提言を含んだ実践的な研究をも広く掲載できるようにし、誌上でも活発な研究交流ができるように準備しています。

ぜひ、多くの皆様にご参画いただければと思います。とくに、若手の会員が増えますことを個人的には期待しています。ご関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。

日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました！ → メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPa5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taikugakkaiwakate@gmail.com

